

公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団

平成29年度奨学生募集要領「一般学生向け」

1、趣旨

公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団（以下本財団という）は、向学心に富み、学業優秀者であり、かつ、品行方正である学生のうち応用化学（プラスチック製品）、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係の学部に学ぶ大学生に対して、奨学金を給与することにより、有為の人材を育成することを目的とします。

2、特徴

この奨学金の特徴は次のとおりです。

- (1) 奨学金は給与とし、返済の義務はありません。
- (2) 奨学生の卒業後の就職、その他一切については、本人の自由とします。
- (3) 他の奨学金との併給は、原則として認めません。
(但し、独立行政法人日本学生支援機構の奨学金は除きます。)

3、奨学生の応募資格

- (1) 応用化学（プラスチック製品）、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係の学部に学ぶ大学生。
- (2) 向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正であるもの。
- (3) パッケージに興味・関心のあるもの。
- (4) チャレンジ精神が旺盛で国際感覚をもつもの。

4、採用人員

| | |
|------|-----------------|
| 大学生 | 9名（第3学年9名） |
| 大学院生 | 11名（大学院修士1年11名） |

5、奨学金の額と給与の方法

(1) 給与金額

| | |
|------|-------|
| 大学生 | 月額5万円 |
| 大学院生 | 月額6万円 |

(2) 給与期間

奨学生に採用したときから、正規の最短修業年限の終期までとします。

但し、各学年の進級時に応募資格に沿って適正審査を行い、継続の可否を決定します。

(3) 給与の方法

奨学金は原則として、6月9月12月及び3月に各3か月分をまとめて直接本人に給与します。（本人名義の銀行等の預金口座に入金します。）

6、奨学金の休止、停止または廃止事由

- (1) 退学したとき。
- (2) 奨学生が休学し、または長期にわたって欠席したとき。
- (3) 奨学生が原級にとどまったとき、または卒業延期の恐れが生じたとき。
- (4) 傷い、疾病などのため成業の見込みがなくなったとき。
- (5) 奨学生の学業成績または性行が不良となったとき。
- (6) 奨学金を必要としない理由が生じたとき。
- (7) 本財団が指定する義務を怠ったとき。
- (8) その他奨学生として適当でない理由が生じたとき。

7、手続

(1) 提出書類

- ① 奨学生申込書（本財団指定用紙を使用し、保証人と連署。保証人は原則として保護者とする）
- ② 出身高等学校の調査書または大学の成績証明書
- ③ 推薦書
- ④ 学校の在学証明書
- ⑤ 審査のためのレポートまたは制作物（添付資料を参照）

(2) 提出方法

本人が書類を揃えて、大学事務局を通じて本財団宛て郵送すること。

(3) 提出期限

平成 29 年 4 月 28 日 財団着

(4) 提出先（連絡先）

〒532-0003

大阪市淀川区宮原 4 丁目 1 番 9 号

公益財団法人フジシールパッケージング教育振興財団 事務局

TEL：06-6350-1089 FAX：06-6350-3053

8、奨学生の決定

- (1) 奨学生の決定は、本財団の奨学生選考委員会の選考を経て理事会が行い、その結果を本人に通知します。
- (2) 選考の経過および決定の理由は公表しません。

9、奨学生の義務

奨学生は 5 月に成績証明書、在学証明書および生活状況報告書を理事長宛報告しなければなりません。また、年に 1~2 回、本財団主催の研究会に出席するとともに、本財団から別途報告書、レポート、制作物などの提出を求められた場合（年 4 回程度）は遅滞なく提出しなければなりません。

以上

平成 29 年度レポートテーマ

フジシール財団

下記 2 つのテーマの内いずれか 1 つを選択し、レポートを作成して下さい。

レポートは A4 用紙 1 ～ 2 枚と致しますが、書き方・内容・形式などについては、自由とします。内容だけでなく、その発想のユニークさや表現方法なども採点の基準となりますので、創意・工夫して下さい。

記

1. 既存商品の改善案

世の中にはいろいろなパッケージが溢れています。身近にある商品のパッケージを 1 つ取り上げて、そのパッケージ独自の特徴を説明して下さい。加えてそのパッケージに関して、下記のような視点を参考にして、自分の思いを記載下さい。

(1) 既存商品パッケージの特徴

(2) 機能やデザイン等どんなことでもいいので、

① 足りていない（または、物足りない）と思うこと

例えば、こういう機能もほしい、こういうデザインがあったらいい

② 逆に、多過ぎる（または、無駄・もったいない）と思うこと

③ 便利性（使いやすさなど）

④ 安全性への配慮

⑤ 環境に配慮したパッケージ

⑥ 高齢化等に伴うユニバーサルデザインに配慮したパッケージ 等々

(3) 上記で挙げた問題点を解決(改善)するにはどうすればいいと思うかをできるだけ具体的に述べて下さい。

2. 新しい（夢の）商品、パッケージの提案

皆さんが考える夢の商品・パッケージを提案して下さい。CVS やスーパーで思わず手に取りたくなるような商品企画を期待しています。

商品を企画するにあたって、現在、または近い将来に起こり得る社会現象やトレンドを取り上げて、その商品との関連性を結びつけて下さい。

◎社会現象の例

- ・ 少子高齢化
- ・ 女性の社会進出の加速化
- ・ 低金利
- ・ 消費税率アップ
- ・ モバイル端末の隆盛
- ・ 人工知能の発達

等々

以上

**フジシールパッケージング教育振興財団
奨学金申込書**

年 月 日 現在

| | | | | | |
|---|----|-----------|----------------|----|--|
| 大学名 | 学部 | 学科 | 学年 | 写真 | |
| フリガナ | | 学籍番号 | | | |
| 氏名 <div style="text-align: right;">印</div> | | 性別 男・女 | 生年月日 年 月 日生 | | |
| 現住所 〒 | | 電話 | 携帯電話 | | |
| E-mail : フリガナ | | | | | |
| (緊急連絡先) | | | 住所 〒 | | |
| フリガナ | | | | | |
| 氏名 <div style="text-align: right;">印</div> | | 関係 | | | |
| | | | 電話 | | |

| 年 | 月 | 学 歴 |
|---|---|-----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

| ご家族氏名 | 続柄 | 年齢 | ご職業等 |
|-------|----|----|------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

1. 奨学金を希望する理由 及び 用途

2. 主として学んでいる内容

3. パッケージングに関して学んでいる事や興味・関心を持っている事

4. 学業以外で取り組んでいること(ボランティア活動・サークル・趣味 他)

5. 卒業後の進路・目標

6. 国際的な興味・関心事について

平成 年 月 日

殿

筑波大学長
永田 恭介

推 薦 書

下記の者を、貴奨学生として適当と認め推薦いたします。

記

| | | | |
|----|------|----|-----|
| 所属 | 筑波大学 | 学群 | 学類 |
| | | 課程 | 研究科 |
| 氏名 | | | 年次 |

推薦所見

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

| | | | |
|-------|----|----|---|
| 指導教員等 | 所属 | 氏名 | 印 |
|-------|----|----|---|

家 庭 調 査 書

| | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|--|--------------|------------------------|------|-------------|----------------------------|-----------------------|-----------------|-----------|----|
| 申 請 者 | 所 属 | _____ 学群 _____ 学類 _____ 年次 | | | | | | | | | |
| | 学籍番号 | _____ | | | 性別 | 男・女 | 現住所 | 〒 _____ TEL (_____) | | | |
| | フリガナ | _____ | | | | | | | | | |
| | 氏 名 | _____ | | | | | 家族住所 | 〒 _____ TEL (_____) | | | |
| 家 族 及 び 所 得 | 就 学 者 を 除 く 家 族 | 続柄 | 氏 名 | 年 齢 | 職 業 | 在職 期間 | 勤 務 先 名 称 | 給与所得の収入 金額 (税込) | 給与所得以外の 所得金額 | | |
| | | 父 | | | | 年 | | 万円 | 万円 | | |
| | | 母 | | | | | 年 | | 万円 | 万円 | |
| | | 父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____) | | | | | | | | | |
| | | 主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____) | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 年 | | 万円 | 万円 | |
| | | | | | | | 年 | | 万円 | 万円 | |
| | | | | | | | 年 | | 万円 | 万円 | |
| | | | | | | | 年 | | 万円 | 万円 | |
| | 別 居 者 に ○ 印 | 就 学 者 | 続柄 | 氏 名 | 年 齢 | 学 校 名 | 設置者別 | 学校種別 | 通学別 | 控 除 額 | |
| 本人 | | | | | 筑波大学 | 国立 | | ※自 宅 自 宅外 | 万円 | | |
| | | | | | | ※国公立 私 立 | ※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門) | ※自 宅 自 宅外 | 万円 | | |
| | | | | | | ※国公立 私 立 | ※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門) | ※自 宅 自 宅外 | 万円 | | |
| | | | | | | ※国公立 私 立 | ※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門) | ※自 宅 自 宅外 | 万円 | | |
| 家 庭 の 特 殊 事 情 | 特別控除項目 | | 控除有無 | | | | | | | | |
| | 障害者がいる世帯 | | ※有・無 | 続柄 () 氏名 () 手帳番号 () | | | | | | | |
| | その他 | | | | | | | | | | |
| 本 人 の 状 況 | 家庭からの給付 | 月額 (千円) | | | | | | 認 定 | | | |
| | アルバイト | 月額 (千円) | 内容 (_____) | | | | | 総収入金額 | ① | 万円 | |
| | 奨学金 | 受給中 | 月額 (千円) | 団体名 (_____) | | | | | 必要経費 | ② | 万円 |
| | | 申請中 | 月額 (千円) | 団体名 (_____) | | | | | 特別控除額 | ③ | 万円 |
| その他の収入 | 月額 (千円) | 内容 (_____) | | | | | 総所得金額 | ④=①-②-③ | 万円 | | |
| 学 業 成 績 | 評 価 | 高等学校 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 平 均 値 | 収入基準額 | 世帯人数 | 人 |
| | | 大学 (院) | A | - | B | C | - | | | ⑤ | 万円 |
| | 修得単位数または科目数 | | | | | | | | 家計充足率 | ⑥=④÷⑤×100 | |

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。